

HAGA

VISUAL DESTINATION GUIDE

2022年3月
発行／芳賀町
〒321-3392 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1020
☎028-677-6018
協賛／芳賀町観光協会
編集・制作／株式会社カレンテックス トチベ編集室



芳賀町観光協会webサイト
<https://hagamachi-kanko.com>



HAGA

VISUAL DESTINATION GUIDE

Haga is located in the central part of Tochigi Prefecture, Japan.
There are a lot of beautiful places here.

vol.02



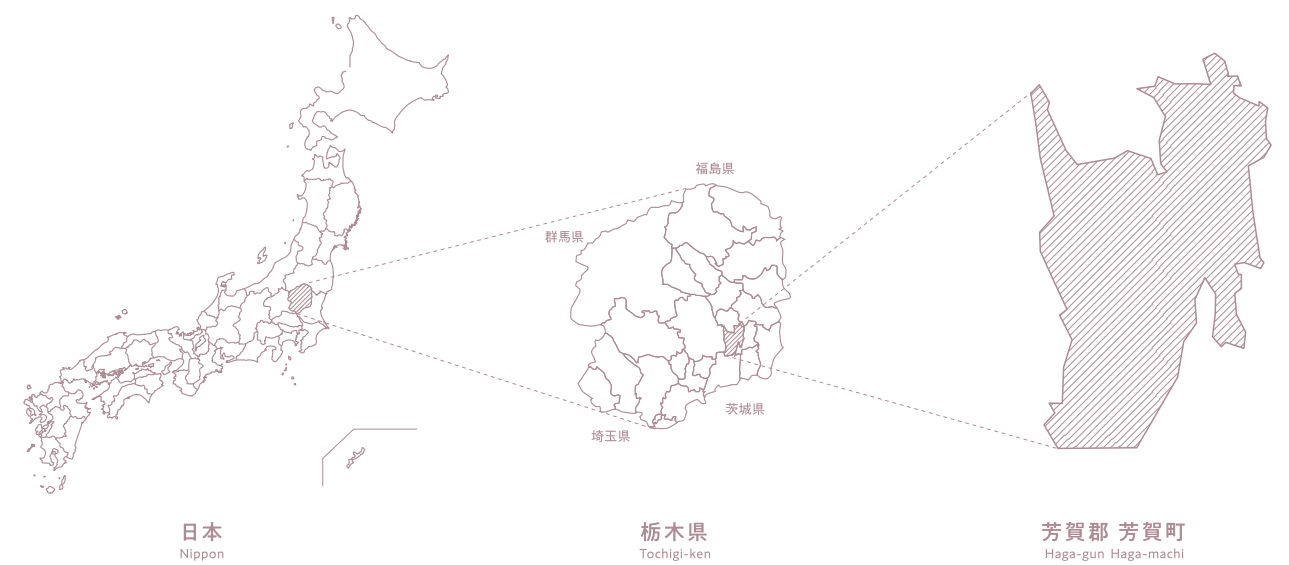
もっと知ってほしい“芳賀町”のこと

栃木県南東部に位置する芳賀町。芳賀町は昭和29年、当時の祖母井町(うばがいまち)と南高根沢村、水橋村が合併して誕生した。現在約15,000人が住むのどかな町は、総面積 70.16km²、その半分以上を田畑や山林、牧場が占める。見渡す限りの広い空と四季を通して表情を変えてゆく田園は自慢の風景。空気の澄んだ日には、北に日光連山、南に富士山を望むことができる。

肥沃な大地は米や野菜、いちごや梨などの果樹を育む。栃木県は53年連続いちごの生産量日本一、にっこりなどオリジナル品種をもつ梨は収穫量全国3位（令和3年産）の生産地。芳賀町はその地位を支える主要産地で「今年も〇〇さん家のいちごが直売所に並びはじめたね」が季節の挨拶。

有名スポットを巡る、行き当たりばったりで散策する。旅の楽しみ方は十人十色。自分自身の日常とは違う“日常”を求めて出かけたい。はじめて観る風景、産地でいただく食材、そして現地で会う人々。同じ場所でも時間や季節が違えば景色も変わる。芳賀町は大きな町ではないけれど、穏やかなときが流れる風景やおいしいもの、この町のことが大好きな人たちで満たされている。

「いつもわたしたちのそばにあるもの」を共有したい。それがきっとみなさんの「芳賀の旅」に彩りを添えてくれるから。そんな想いを込めてわたしたちが大好きな芳賀町をお届けします。



花で 感じる 季節

咲き始めた花を見て、季節の移り変わりを感じる…。花と花を囲む景色は唯一無二。芳賀の自然と人々により生み出される花風景をお届け。広い空を背景に美しく咲く花々は心が和む。

心惹かれる春の風物詩

澄み渡る空と桜



01

徐々に染まりゆくその様もまた美しい

あちらこちらで輝く赤や黄色



10



11



12



13

Autumn

- 10 延生地蔵尊 城興寺
／芳賀町下延生1641
- 11 上の原緑地公園
／芳賀町祖母井1725-34
- 12 野元川沿い(イチヨウ)
- 13 東高橋公民館南側(コキア)



14

Winter

- 14 15 見木鉄工所バラ園
／芳賀町稲毛田
- 16 17 芳賀 天満宮
／芳賀町西水沼1723

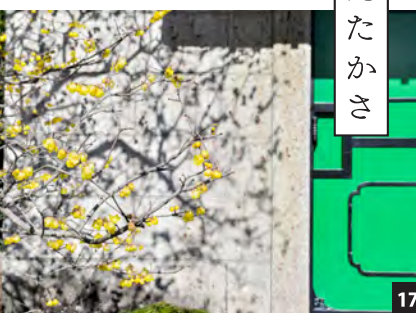
寒さの中に感じるあたたかさ
甘い香り漂う冬の花



15



16



17

Summer

- 07 芳賀 天満宮／芳賀町西水沼1723
- 08 般若寺跡／芳賀町芳志戸2443-1
- 09 高宗寺／芳賀町祖母井870

涼しげな表情を魅せる花々
太陽の光を浴び
可憐に咲き誇る



09



07



08

おいしいものは、すぐそばに

芳賀町のほぼ中央を、北から南に利根川水系の五行川と野元川が流れる。水の恵みと広い空からそそぐ太陽の光を受ける作物たち。生産者のていねいな手仕事加わり、おいしさがぎゅっとつまる。

菅野農園

12〜5月頃
菅野 将大さん



質の高い、いいものを届けたい。毎日丹念に苗の表情を確認し、風通しや温度を調整している。「苗が話しかけてくるんですよ」と笑顔。日々磨かれる観察眼が、おいしいいちごを育てる。

4月に咲く梨の花



田口果樹園

7月下旬〜11月頃
田口 敬久さん



「守るべきところは守り、良いところは取り入れる」が信条。堆肥利用など、昔ながらの農法を継承しながら、新しい方法も取り込む。おいしい「芳賀町の梨」をもっと有名にしたいと奮闘中。

小林ぶどう園

7〜9月頃
小林 孝之さん



ぶどう栽培に適した土地と判断した先代の想いを受け継ぎ、多品種栽培を行う2代目。「完熟摘みたてを食べてほしい」と並べられる直売所のぶどうを求めて、地元の人たちが朝からやって来る。



米どころ芳賀

5月、田起こしを終えた田んぼには水がはられ、次々と田植えが始まる。苗がすくすくと育ち、青々とした稲穂は秋にかけて黄金色に染まる。視界を遮るものがない芳賀町の田園風景。太陽の光を浴び、そよ風に揺れる稲穂、この風景が贅沢に感じられる。日本の食卓に欠かせない「米」。米は育つ環境と作り手により、その土地ならではのおいしさが生み出される。一級河川の利根川水系から流れる五行川と野元川を水源に、芳賀町は栃木県の米どころとして発展してきた。そんな芳賀町からお届けするのは、農業や化学肥料を可能な限り減らし、自然の力で育てた特別栽培米「芳賀のめぐみ」。コシヒカリの豊かな香りを楽しみながら、ほどよい粘りとほんのりとした甘みを味わえる。おいしいものは現地で食するのが一番。町内の取扱い飲食店に行ってみよう。購入するなら、「道の駅」が「く」。



芳賀町納税は
ふるさと納税はこちら

世界へ 芳賀から



芳賀町は、昔ながらののどかな景色が広がる一方で、芳賀・高根沢工業団地と芳賀工業団地も有し、3カ所目となる芳賀第2工業団地の造成・分譲も始まっている。栃木県最大規模の工業団地には、自動車を中心にロボット、医療、食品などさまざまな産業と最先端の技術が集結。次世代型路面電車システムLRT開通後は、JR宇都宮駅からのアクセスが便利になることでさらなる発展が期待されている。

芳賀町の工業団地

企業数	103社	
面積	芳賀工業団地	248.4ha
	芳賀・高根沢工業団地	226.4ha
	芳賀第2工業団地	23.2ha
従業員数	24,327人	

(令和3年4月時点)



車のエキスパートが集まる四輪車の研究開発

本田技研工業株式会社 四輪事業本部 ものづくりセンター(栃木)

二輪車・四輪車・汎用製品などの総合テストコースもここに。



栃木県産牛肉を海外に輸出

とちぎ食肉センター

畜産業が盛んな栃木県。2020年、芳賀町に最新設備を導入したとちぎ食肉センターが竣工。ここからアメリカ、EU、シンガポール、タイ、ベトナムへ栃木県産牛肉が出荷される。



冬の風物詩
グルメとイルミネーションの祭典
「グルメミネーション」
ライトアップと
花火のコラボレーションに
思わずため息。

笑顔な芳賀町

ローカルスポットに目を向けると、よそ行きではない芳賀町に出会える。地域の歴史や文化、生活を色濃く映し出す地域行事に出かけよう。



八雲神社の竹あかり
芳賀町稲毛田1394



「住みやすい」芳賀町。
笑顔あふれる子どもたち。

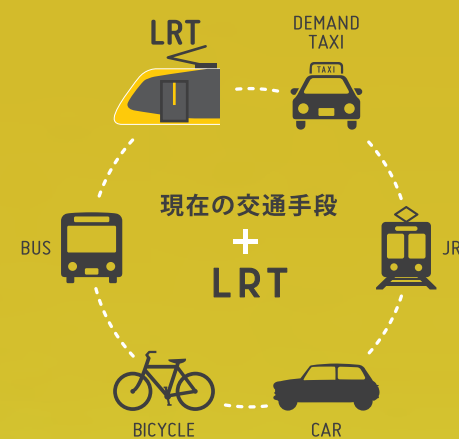


260年の歴史を誇る
山車屋台

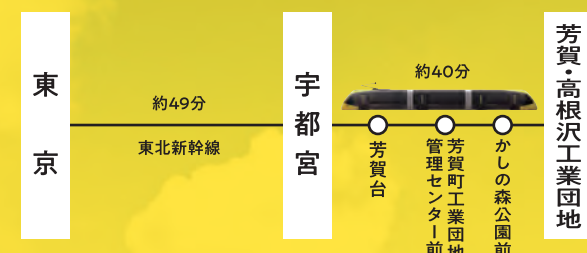


移動も楽しむ 芳賀の旅

栃木県宇都宮市と芳賀町を結ぶ
次世代型路面電車システム **Light Rail Transit**
2023年春 開通予定



東京から約1時間30分



世界各国の都市でも運行中
ドイツ、オーストラリアなど
LRTはアメリカ、フランス、



芳賀町建設産業部 都市計画課
TEL. 028-677-6161
※運行時間などは国の許可を経て決定予定。

LIGHTLINE
Haga Utsunomiya LRT

人と環境にやさしいLRT

/01
バリアフリー

段差がなく、高齢者や
車椅子の方、ベビーカーも
乗り降りスムーズ

/02
快適

時速40km定時運行
騒音や振動も少ない

/03
環境に優しい

電気モーター駆動なので、
車両からの二酸化炭素(CO₂)
などの排気ガス排出ゼロ

利便性を高めた停留所を設置中



広い車窓から移り変わる
景色を楽しむ



もっと楽しい芳賀町がはじまる

Painted by children in Haga town.

